



河野敬子さん(48)
team(チーム)34
グローバルデザイナー
東京都



「こどもいんのリンピック」に集まった
日本人や外国人の参加者

私は、国際協力のプロフェッショナル「開発コンサルタント」を支援する団体(東京)で人材育成と広報の仕事をしている。以前はJICA中国でも同様の業務に当たった。広島生まれ、広島育ち。高校1年の時に広島市の国際交流事業でカナダのモントリオールに派遣されたことが「新たな体験に出合う場づくり」に興味を持った原点だ。

国際協力の現場に広島出身者は美に多い。広島に住みたい、関わりたいと話す人も少なくない。そこで私は2018年、国際協力や開発援助に携わる広島県出

体験で気づき 人材育む

身・在住者を対象に「team34」というネットワークをつくった。34は広島県の都道府県番号である。

team34は尾道市因島の企業PIUSと20年、新型コロナウイルス禍により志半ばで帰国を余儀なくさ

た。team34は尾道市因島の企業PIUSと20年、新型コロナウイルス禍により志半ばで帰国を余儀なくさ

た。team34は尾道市因島の企業PIUSと20年、新型コロナウイルス禍により志半ばで帰国を余儀なくさ

れ、日本で待機する青年海外協力隊員を対象に「因島フィールドワーク合宿」を開いた。開催地の因島には造船業などに携わるベトナムやフィリピン、インドネシアなどからの技能実習生が多い。こうした外国人との多文化共生社会の実現をはじめ、耕作放棄地、高齢化、人口減少などの問題にも目を向けてもらおうとの狙いからだった。

地域に住む外国人や農家との交流会、住民を講師に招いての学習会などで構成する9日間の合宿をこの年は2回開き、計8人が参加した。JICA中国とも連携し、21年からは中国地方の大学生を対象に開催。昨年は「多文化共生」をテーマに、技能実習生の出身国の遊びを体験する「こどもいんのリンピック」を大学生自らが企画・実施した。

体験は大きな気づきを与えてくれる。その気づきは行動となり世界を変えようと信じ、これからも広島を紹介して世界に羽ばたく人材の育成に取り組みたい。